



PEACE



香南小学校だより

発行日 平成23年12月1日

校長室より

みんな なかま

朝晩冷え込むようになり、ようやく紅葉も見頃かと思いきや、早くも落ち葉に。「山装う」と表現される美しい景色は、テレビの中で見ただけでした。

年賀状の話も耳にするようになりしました。今年は東日本大震災の年。年賀状を出していいか、文面は？被災者を気遣い考えを巡らせているようです。

11月の学習参観日には、初めての引き渡し訓練を実施しました。引き渡しの際には、大勢の人が一度に動きましたが、整然と並んでいただき、短時間でスムーズに引き渡すことができました。

た。「災害は忘れた頃にやって来る」と言われますが、南海地震が予想されている今、東日本大震災の教訓を生かし、今後も訓練を行う予定です。

また、家庭教育研修会も開催。元香南小学校の校長先生で前香川県総務部人権・同和政策課参事、森山亮先生をお迎えし、「君が好き・あなたが大事」のテーマでご講演いただきました。エピソードを基に、一人ひとりがかけがえのない人間、自分と同じように相手も大切に、と穏やかな表情でお話され、人権に対する思いを新たにしました。

12月4日から10日は人権週間です。学校では、12月7日になかま集会（人

権集会）を開きます。今年のテーマは「やさしさいっぱい みんな なかま」。毎月のなかま学習や人とのふれあいで学んだことを学年ごとに発表します。相手を思う心が、日常の言葉や行動となって表れるようにと願っています。

今、学校では、クラスごとにあいさつ運動を行っています。1年生が先生と一緒に張り切ってあいさつする姿は微笑ましいものです。あいさつは心と心をつなぎます。みんな なかよく、元気に。冬の寒さに負けず、がんばれ。



2011年

12月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 街頭指導 集金引落日	6 委員会活動	7 なかま集会 道徳の日	8 カ-ルカ-ドリ-ガ-来校日 下校12:50-	9 あいさつの日 文化センター学習 (5年) カウンセリング実施日	10 みんなで作る人権の つどい
なかま週間・教育相談週間						
11	12	13 クラブ	14	15 街頭指導 下校13:30-(2白以 外) 15:00-(2白)	16	17
18	19 香南ピース会議	20 あいさつの日 集金通知日 休業前懇談会 下校12:50-	21 下校15:20-	22 冬休み前集会 下校14:15-	23	24
25	26 冬季休業日~1/9	27	28	29	30	31
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 生徒指導の目標 みんなとなかよくしよう! </div>						
<1月の主な行事> 10日(火)全日授業開始(給食あり) 27日(金)ありがとう集会						

なかまとともに



なかま委員会の発表

毎月、各自が生活の中で友達のやさしい思いやりのある行動を見つけ「ありがとうカード」に書いてきました。16日の児童朝会では、なかま委員会の児童が全校生から集めた「ありがとうカード」の場面をいくつか紹介しました。うまく楽器の演奏ができない友達へ「下手なことないよ。一緒に頑張ろう。」と励ます姿や、忘れ物をして困っている友達に「貸してあげるよ。私を見てもいいよ。」と温かい声を掛ける姿は見ていた全校生のよいお手本となっていました。



ふれあい活動が終わる

これまで、6年生がリーダーとしてふれあい班の活動を計画し運営に取り組んできましたが、先日の17日で終わりを迎えました。1～5年生に楽しく活動してもらおうと、毎回、道具の準備やお世話に奮闘する姿が見られました。自分のことより下級生を優先し、サポートしようとする6年生の姿勢は、きっと今の5年生へと受け継がれていくことだと思います。これまで、本当によく頑張りました。



「チョボラ」の取り組みを振り返って

4年生以上の学級が計画したボランティア活動が行われました。

中庭の草ぬきや運動場の石拾いへの参加を呼びかけた学級、昼休みに楽しいゲームや遊びを提案してくれた学級、さまざまな子どもたちからのアイデアで学校生活がより楽しいものになりました。受け身の態度ではなく、子どもたちの自主性が光った活動になりました。



「友だちとかかわり合い、共に高め合う子ども」をめざして



前に「無理！」と断られて、嫌な気持ちになったことがあります。

4年研究授業「上手に断れるかな」

11月17日に、4年赤組でなかま学習の研究授業を行いました。友達から頼みごとをされたけど都合が悪くて断る必要がある場面を取りあげ、相手を傷つけずに気持ちがきちんと伝わる断り方を考え、役割演技で確かめました。

子どもたちは、「ごめんね」と謝ること、手伝えない理由を伝えること、「できないんだ」ときちんと断ること、「今度は手伝うよ」、「他の日だったら〜」というように代わりの案を出すことの必要性を理解し、断り方を練習しました。授業で学んだことが普段の学校生活に生かしていけるようにと考えています。

言葉づかいはよりよい対人関係を築くための第一歩です。自分の気持ちを正直に表現すると同時に、相手への配慮が必要になってきます。肝心なところで一言が足りないためにトラブルに発展してしまうこともあります。各学年の発達段階に応じながら指導を続けているところです。

12月のなかま集会では、各学年で取り組んできた人権学習・なかまづくりの様子を発表します。ぜひ、ご覧いただけたらと思います。



どういうふうに言えば、相手に分かってもらえるだろうな。



次からは、もっとやさしい言葉づかいをしようと思いました。



きちんと説明すると、気持ちが伝わるのがわかりました。